

第4回 県内での多文化共生に関する意識調査

○実施期間 令和8年8月19日～8月25日

○アンケート会員数 325名 回答者数 287名(88.3%)

○このアンケートは、奈良県が、国籍や民族などの違いに関わらず、県民の皆様が安心して暮らすことができる多文化共生社会(※)の実現に向けた社会づくりを進めるために実施するものです。

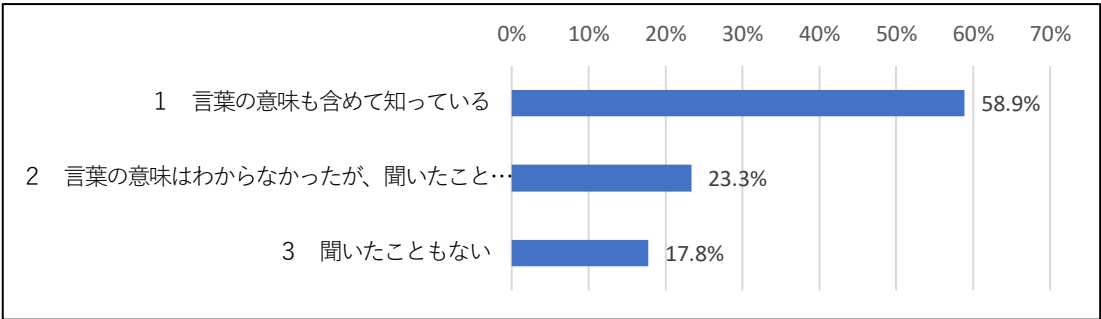
つきましては、お忙しいところお手数をおかけしますが、本アンケートにご協力くださいますようお願い申し上げます。

※多文化共生…国籍や民族などの異なる人々が、互いの文化的ちがいを認め合い、対等な関係を築こうとしながら、地域社会の構成員として共に生きていくこと

(グラフ内スペースの関係から、選択肢の全文が表示されないことがあります。左の表でご確認ください。)

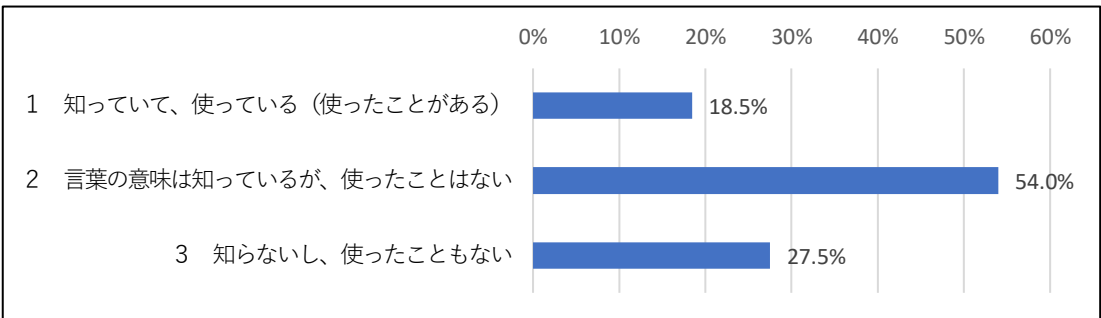
問1 「多文化共生」という言葉を知っていますか。※多文化共生…国籍や民族などの異なる人々が、互いの文化的ちがいを認め合い、対等な関係を築こうとしながら、地域社会の構成員として共に生きていくこと。(当てはまるものを1つだけ)

選択肢	回答数	回答対象者	比率
1 言葉の意味も含めて知っている	169	287	58.9%
2 言葉の意味はわからなかったが、聞いたことはある	67		23.3%
3 聞いたこともない	51		17.8%
総計	287		100.0%



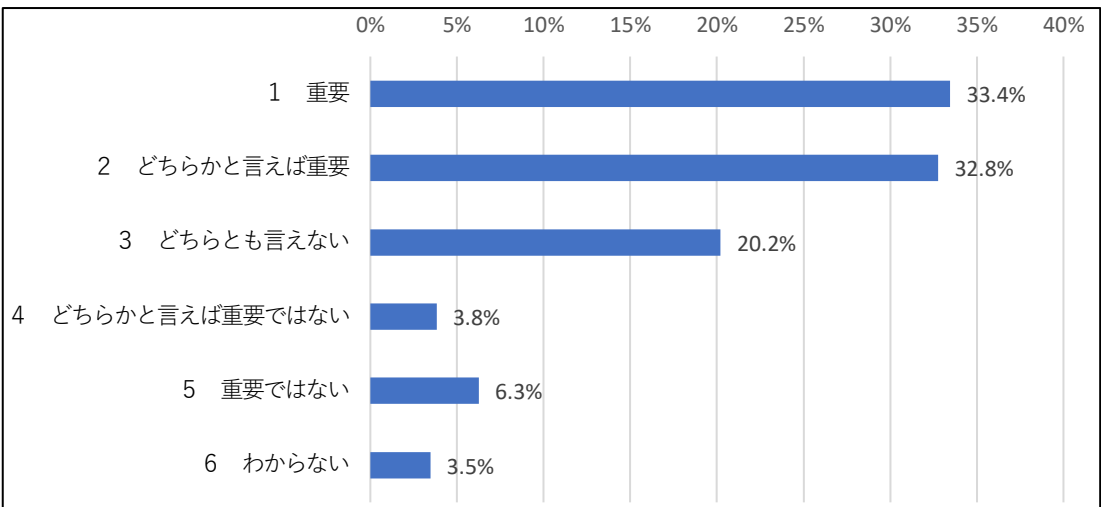
問2 「やさしい日本語」を知っていますか。※やさしい日本語…普段使われている言葉を外国人にもわかるように、難しい語句を簡単な語句や表現に言い換えたり、文書を簡潔にするなど、相手に配慮したわかりやすい日本語のこと。(当てはまるものを1つだけ)

選択肢	回答数	回答対象者	比率
1 知っていて、使っている(使ったことがある)	53	287	18.5%
2 言葉の意味は知っているが、使ったことはない	155		54.0%
3 知らないし、使ったこともない	79		27.5%
総計	287		100.0%



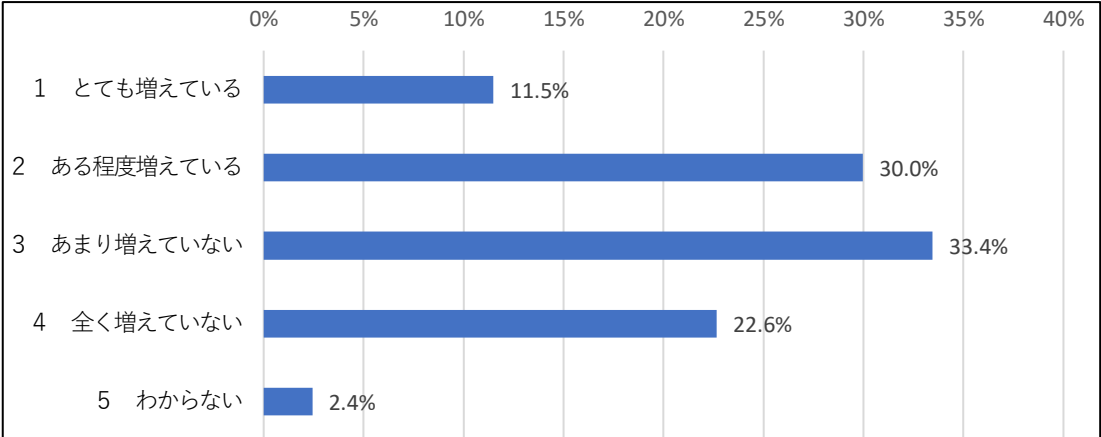
問3 現在、奈良県には2万1千人を超える外国人が暮らしています。国籍や民族等の異なる人々が互いに認め合い、共に暮らす社会の実現についてどう思いますか。(当てはまるものを1つだけ)

選択肢	回答数	回答対象者	比率
1 重要	96	287	33.4%
2 どちらかと言えば重要	94		32.8%
3 どちらとも言えない	58		20.2%
4 どちらかと言えば重要ではない	11		3.8%
5 重要ではない	18		6.3%
6 わからない	10		3.5%
総計	287		100.0%



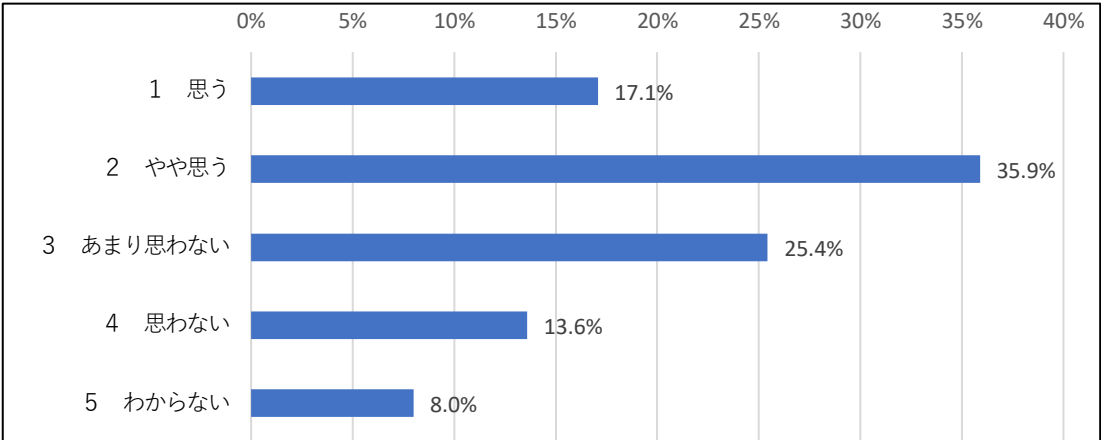
問4 日々の暮らしの中で、外国人住民と接する機会が増えていますか。(当てはまるものを1つだけ)

選択肢	回答数	回答対象者	比率
1 とても増えている	33	287	11.5%
2 ある程度増えている	86		30.0%
3 あまり増えていない	96		33.4%
4 全く増えていない	65		22.6%
5 わからない	7		2.4%
総計	287		100.0%



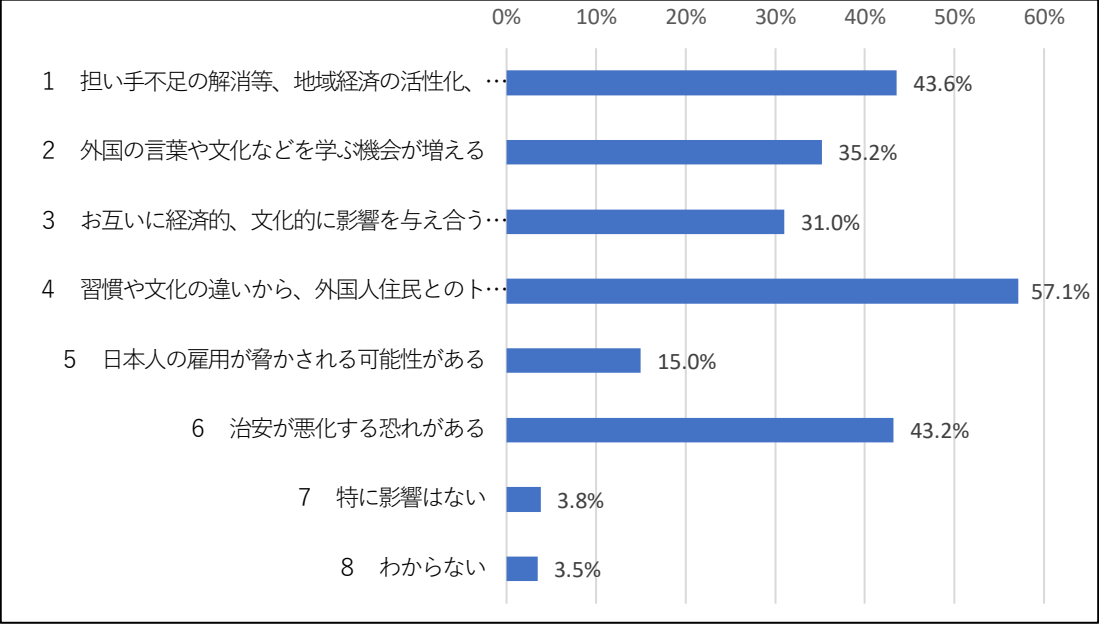
問5 外国人住民と地域社会や職場、学校、イベントなどで交流や関わりを持ちたいと思いますか。(当てはまるものを1つだけ)

選択肢	回答数	回答対象者	比率
1 思う	49	287	17.1%
2 やや思う	103		35.9%
3 あまり思わない	73		25.4%
4 思わない	39		13.6%
5 わからない	23		8.0%
総計	287		100.0%



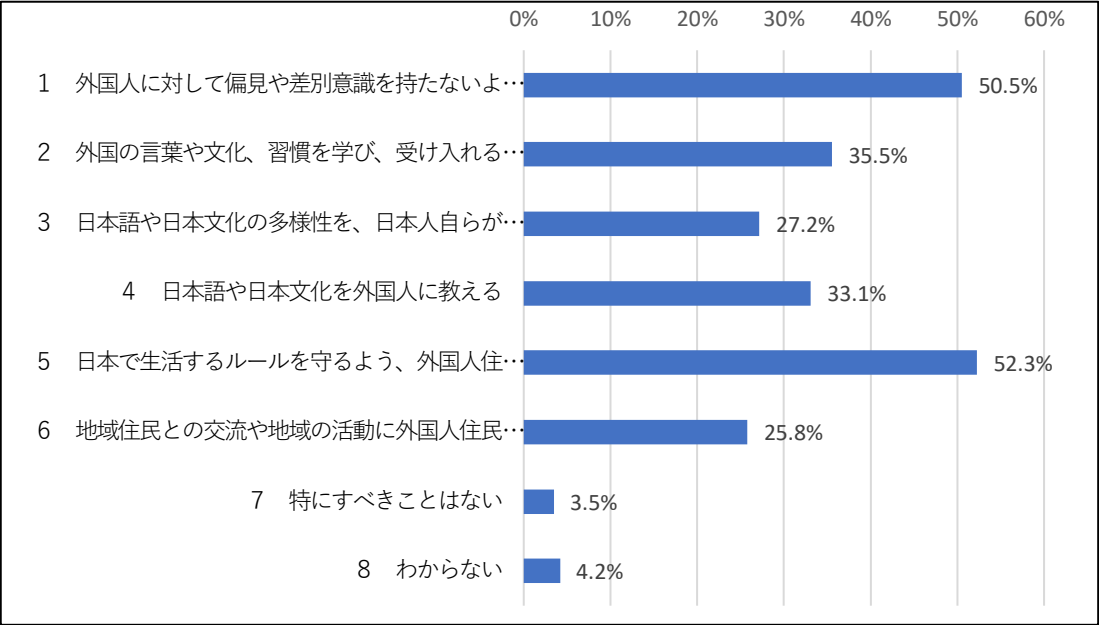
問6 地域社会に外国人住民が増えることについてどのような印象を持ちますか。(当てはまるものを3つまで)

選択肢	回答数	回答 対象者	比率
1 担い手不足の解消等、地域経済の活性化、発展につながる	125	287	43.6%
2 外国の言葉や文化などを学ぶ機会が増える	101		35.2%
3 お互いに経済的、文化的に影響を与え合うことで、地域の国際化につながる	89		31.0%
4 習慣や文化の違いから、外国人住民とのトラブルが増える恐れがある	164		57.1%
5 日本人の雇用が脅かされる可能性がある	43		15.0%
6 治安が悪化する恐れがある	124		43.2%
7 特に影響はない	11		3.8%
8 わからない	10		3.5%
総計	667		



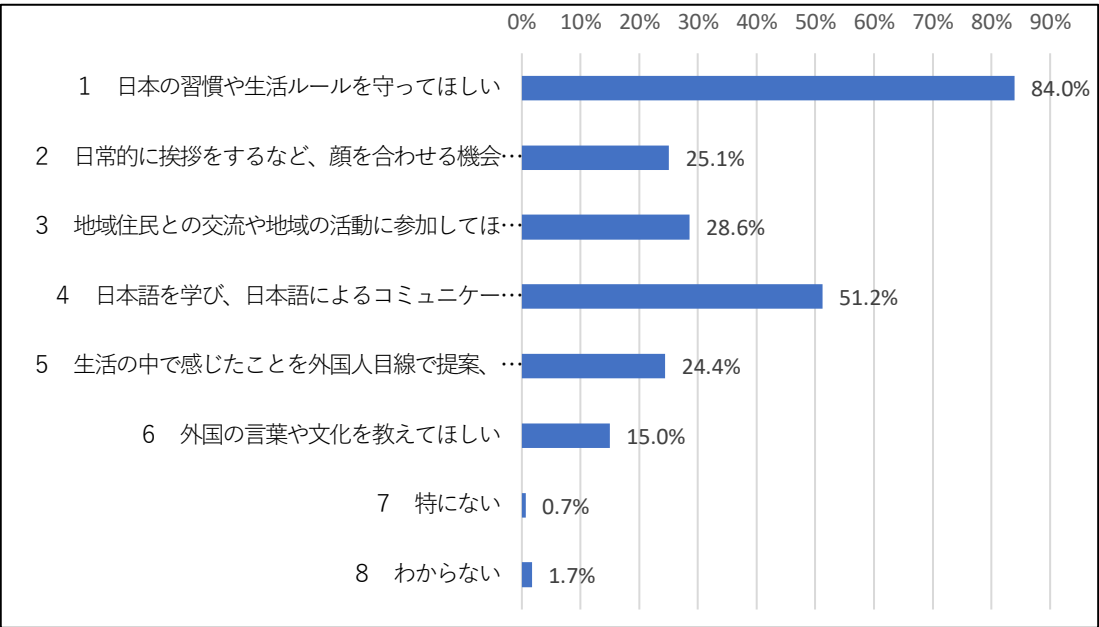
問7 日本人住民と外国人住民が共に安心して暮らし、活躍できる地域社会にしていいため、「日本人住民」は何をすべきだと思いますか。(当てはまるものを3つまで)

選択肢	回答数	回答 対象者	比率
1 外国人に対して偏見や差別意識を持たないようにする	145	287	50.5%
2 外国の言葉や文化、習慣を学び、受け入れる意識を持つ	102		35.5%
3 日本語や日本文化の多様性を、日本人自らが知る努力をする	78		27.2%
4 日本語や日本文化を外国人に教える	95		33.1%
5 日本で生活するルールを守るよう、外国人住民に呼びかける	150		52.3%
6 地域住民との交流や地域の活動に外国人住民の参加を呼びかける	74		25.8%
7 特にすべきことはない	10		3.5%
8 わからない	12		4.2%
総計	666		



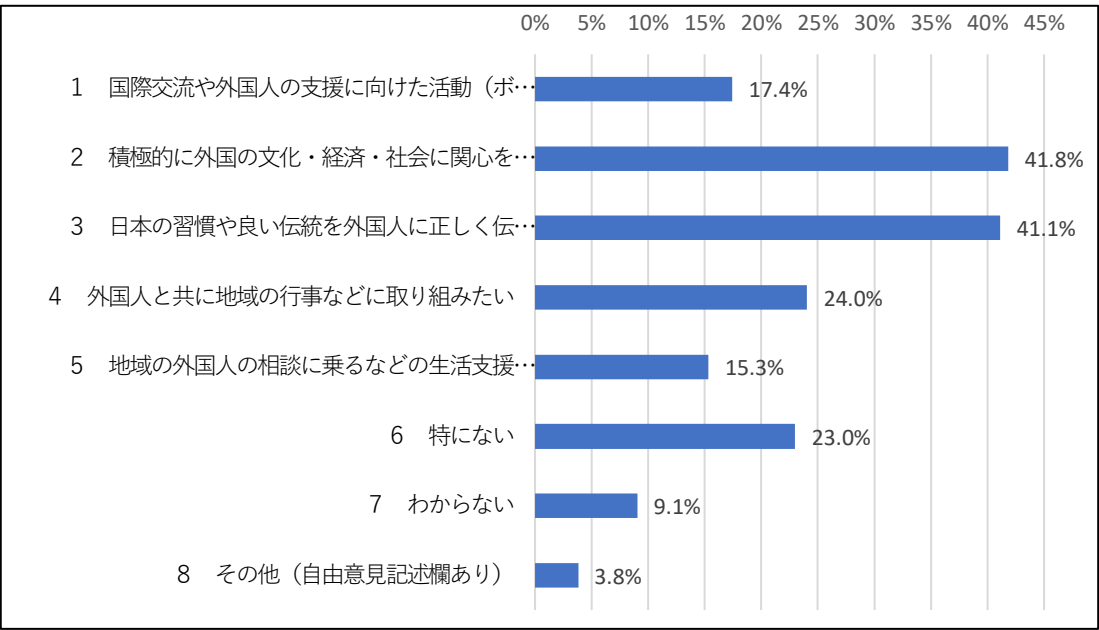
問8 日本人住民と外国人住民が共に安心して暮らし、活躍できる地域社会にしていいため、「外国人住民」に何をしてほしいですか。(当てはまるものを3つまで)

選択肢	回答数	回答 対象者	比率
1 日本の習慣や生活ルールを守ってほしい	241	287	84.0%
2 日常的に挨拶をするなど、顔を合わせる機会がほしい	72		25.1%
3 地域住民との交流や地域の活動に参加してほしい	82		28.6%
4 日本語を学び、日本語によるコミュニケーションが取れるようになってほしい	147		51.2%
5 生活の中で感じたことを外国人目線で提案、発言してほしい	70		24.4%
6 外国の言葉や文化を教えてほしい	43		15.0%
7 特にない	2		0.7%
8 わからない	5		1.7%
総計	662		



問9 今後、多文化共生・国際化が進むことに伴い、あなた自身はどのような対応をしていきたいと思いますか。(当てはまるものをいくつでも)

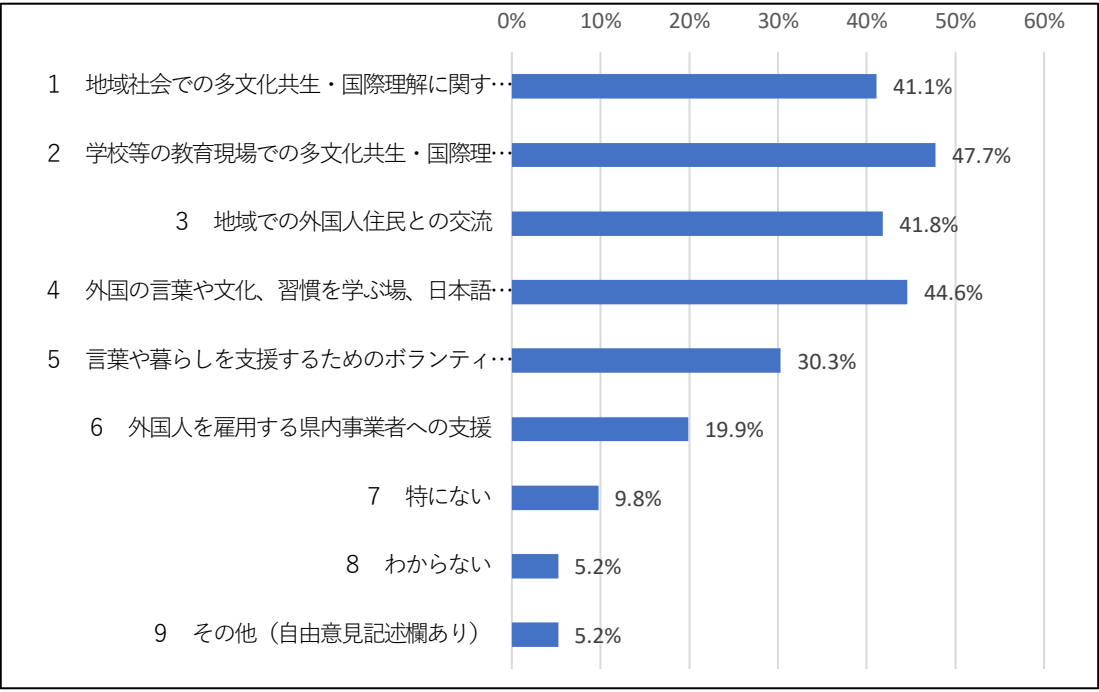
選択肢	回答数	回答 対象者	比率
1 国際交流や外国人の支援に向けた活動（ボランティアを含む）に参加したい	50	287	17.4%
2 積極的に外国の文化・経済・社会に関心を持つようにしたい	120		41.8%
3 日本の習慣や良い伝統を外国人に正しく伝えたい	118		41.1%
4 外国人と共に地域の行事などに取り組みたい	69		24.0%
5 地域の外国人の相談に乗るなどの生活支援をしていきたい	44		15.3%
6 特にない	66		23.0%
7 わからない	26		9.1%
8 その他（自由意見記述欄あり）	11		3.8%
総計	504		



自由意見記述欄に記載された意見（抜粋）
・簡単な英会話を学んでいるため、英語で外国人の人に道を教えたり、生活の質問に答えられるようにはしていきたいと思う。 ・もし自分の生活範囲に外国の方がいたり接することがあれば偏見なくコミュニケーションをとりたい。 ・それが大切だということは分かっていますが、時間に全く余裕がないため現状は難しいです。

問10 今後、多文化共生・国際化が進むことに伴い、奈良県においてどのような「日本人住民向け」の施策が重要だと考えますか。（当てはまるものをいくつでも）

選択肢	回答数	回答 対象者	比率
1 地域社会での多文化共生・国際理解に関する啓発	118	287	41.1%
2 学校等の教育現場での多文化共生・国際理解の充実	137		47.7%
3 地域での外国人住民との交流	120		41.8%
4 外国の言葉や文化、習慣を学ぶ場、日本語や日本文化を学ぶ場の創出	128		44.6%
5 言葉や暮らしを支援するためのボランティアの育成	87		30.3%
6 外国人を雇用する県内事業者への支援	57		19.9%
7 特にない	28		9.8%
8 わからない	15		5.2%
9 その他（自由意見記述欄あり）	15		5.2%
総計	705		



自由意見記述欄に記載された意見（抜粋）
・「やさしい日本語」は知りませんでしたので、ちょっと調べてみましたが、勉強になりました。ありがとうございます。尚、「外国人を雇用する県内事業者への支援」は時々見かけます、低賃金や使いやすさで雇用する事業者が出ないよう済みませんがチェック等よろしくお願いします。 ・国によっては、全く文化や考え方の違いがあると言うことを深く知るべき。日本のルールをきちんと教えることの大切さを住民に伝えるべき。